



平成22年11月5日

各 位

共同コンピュ - タホ - ルディングス株式会社

代表取締役社長  
吉 村 昭 一

( JASDAQ ・ コド' 9 6 8 5 )

問い合わせ先  
取締役 IR担当  
小 林 勇 雄

( TEL : 0776-34-3512 )

平成23年3月期第2四半期累計期間(連結)業績予想ならびに通期(連結)業績予想の  
修正と平成23年3月期第2四半期累計期間(単独)業績見込との差異に関するお知らせ

平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の業績予想について、平成22年  
5月14日付当社「平成22年3月期決算短信」にて発表いたしました平成23年3月期第2四半期  
累計期間(連結)業績予想ならびに通期(連結)業績予想を下記のとおり修正いたします。

また、平成23年3月期第2四半期累計期間(単独)の業績見込みについて、前年同期と比較し  
て差異が生じることとなりましたので併せて下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成23年3月期 連結業績予想の修正等

(1) 第2四半期累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

( 単位:百万円 )

|                                   | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|------|------|--------|-------------|
| 前回予想( A )                         | 1,580 | 30   | 40   | 25     | 円 銭<br>4 92 |
| 今回修正( B )                         | 1,510 | 95   | 55   | 50     | 9 54        |
| 増減額( B - A )                      | 70    | 125  | 95   | 75     | —           |
| 増減率                               | 4.4%  | —    | —    | —      | —           |
| (ご参考)前期第2四半期実績<br>(平成22年3月期第2四半期) | 1,484 | 48   | 54   | 28     | 5 55        |

(2) 修正理由

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の景気刺激策の効果などにより一部に景気を持ち直しや下げ止まりの傾向が見られたものの、欧米経済の減速感に加え急速な円高や雇用情勢の冷え込みなど依然厳しい状況が続いております。

そのような状況下で当社グループは、受注獲得に向け既存顧客の深耕や新規顧客の開拓に努めてまいりましたが、当第2四半期累計会計期間の業績は、当初の計画で本年12月末までに清算を予定しておりました海外子会社の不動産が売却されたことに伴い、売上1億24百万円(売上原価は1億22百万円)が計上されたことにより全体の売上は当初計画より増加いたしました。国内の売上は大型案件の減少や受託派遣型売上の減少などにより計画を大幅に下回る結果となりました。

一方、利益面につきましては、固定費の削減効率はあるものの売上の減少とそれに伴うSEの稼働率の悪化が売上原価を押し上げ、その影響により損失を計上することとなりました。なお、技術者向けに教育を中心とした雇用調整助成金収入59百万円を営業外収益で計上しております。

その結果、売上高15億10百万円、営業損失95百万円、経常損失55百万円及び四半期純損失50百万円となる見込みであります。

(3) 通期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位:百万円)

|                         | 売上高   | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益   |
|-------------------------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 前回予想(A)                 | 3,400 | 170   | 180   | 120   | 円 銭<br>23 61 |
| 今回修正(B)                 | 3,100 | 20    | 80    | 30    | 5 90         |
| 増減額(B-A)                | 300   | 150   | 100   | 90    | —            |
| 増減率                     | 8.8%  | 88.2% | 55.6% | 75.0% | —            |
| (ご参考)前期実績<br>(平成22年3月期) | 3,207 | 15    | 16    | 30    | 5 98         |

(4) 修正理由

第3四半期連結会計期間以降の国内景気は、米欧経済の減速感や急速な円高による輸出企業の業績の圧迫、デフレ経済の進展や雇用の冷え込みなど不安定要素が多々あり、先行き不透明な状況が予想されます。

当情報サービス業界においても、厳しい経済情勢のなか企業の情報化投資の抑制傾向は続き、それに伴い、受注の冷え込みや価格競争の激化などの厳しい経営環境が続くと予想されます。

このような状況の中で、当社グループは、受注拡大に向け引き続き既存顧客の深耕や新規顧客の開拓、SEの稼働率の向上や更なる固定費の削減に努める所存であります。

通期の業績予想については、第2四半期累計期間の業績悪化の影響や想定以上の景気回復の遅れによる受注環境の低迷などを勘案して、売上高は当初予想より3億円減少し31億円、営業利益は1億50百万円減少し20百万円、経常利益は受注状況を勘案しつつ技術者向けに新たなノウハウ取得のための教育を中心とした雇用調整助成金収入などを考慮し当初予想より1億円減少の80百万円を見込み、また、当期純利益は90百万円減少の30百万円を見込んでおります。

2. 平成23年3月期第2四半期累計期間(単独)業績見込みと前年同期との差異

(1) 第2四半期累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(単位:百万円)

|             | 売上高  | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益  |
|-------------|------|------|------|-------|-------------|
| 前期実績 (A)    | 53   | 5    | 5    | 32    | 円 銭<br>6 28 |
| 当期見込み (B)   | 50   | 7    | 8    | 14    | 2 74        |
| 増減額 (B - A) | 3    | 2    | 3    | 46    | —           |
| 増減率         | 5.7% | —    | —    | —     | —           |

(2) 差異の理由

当社は、前期に(平成21年7月1日付け)連結子会社であった(有)ジスネット(100%子会社)を吸収合併いたしました。

その結果、前期の実績には特別利益(抱合せ株式消滅差益)に1千5百万円が計上されております。また、当中間期において海外子会社の清算が終了したことに伴い投資損失2千万円計上がされております。

以上により差異が生じております。

以 上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表時現在の入手可能な情報に基づいた判断及び仮定を前提とした見通しであります。多分に不確定な要素を含んでおり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。